



イハ必勝を訴える社民党国対委員長・照屋寛徳衆、日本共産党委員長・志位和夫、生活の党と山本太郎となかまたち代表・小沢一郎、社会大衆党委員長・糸数慶子、仲里利信衆議院議員 民進党ネクスト内閣府特任大臣・荒井聡のみなさん。

沖縄から日本の政治を変えよう!

イハさんを国会へ

アベ政権は打倒! 4野党の党首らが熱烈支援

基地のない誇りある豊かな沖縄へ 相手陣営をノックアウトしよう

私たちは、戦後71年間、基地の重圧に苦しめられてきました。辺野古新基地建設は、この重圧をさらに200年も続けようというもの。沖縄は永遠に米軍基地の島であれというメッセージ。絶対に許すことはできません。

50年代の土地闘争、60年代の復帰闘争、私たちは自らのたたかいで、沖縄の将来を切り拓いてきました。翁長知事は埋め立て承認を取り消し、いま辺野古の埋め立て工事は止まっています。県民の意思をしっかりと示すことによって、建設断念に追い込もうではありませんか。

沖縄の観光客は、今年中に800万人を超えます。沖縄の魅力が800万人の人をひきつけているのであります。この魅力を損なうのが新基地建設です。絶対に反対していきましょう。

私たちは、長い間米軍統治に置かれた分、まだまだ所得も全国平均の7割台、子どもの貧困率も2倍であります。この沖縄の良さをしっかりと実現していくならば、決して引けを取らない経済発展をつくりだすことができますと確信しています。

翁長知事は、21世紀ビジョンやアジア経済戦略構想を掲げて、私たちの未来の青写真を示しています。私は、国政の場から、沖縄の発展のためにつくしてまいります。

私は、宜野湾市長として2期・7年半、貧困や保育園の問題に取り組んできました。いまでは全県に波及している中学卒業までの入院費無料化も、宜野湾市からスタートしたものです。本来なら国が子どもたちのための医療費無料化を実施すべきです。

党首クラスの方々がこの沖縄に集ったのは、憲法9条をなくして戦争できる国にしていくという、安倍政権のねらいをくじくためです。沖縄から、憲法9条を守るトップランナーとして頑張らせてください。

沖縄戦を生き抜いた方々が今日の沖縄をつくっています。私は、その思いをしっかりと受け止めて、平和な沖縄、平和な日本をめざすことを約束します。

80%をこえる県民が辺野古新基地に反対する中、負けるわけにはいけません。この大きな力で、私たちの声を広げて、そして相手候補をノックアウトしようではありませんか。



最後まで の奮闘が勝利への道 気を緩めたら大変な結果に!

七月一日、「イハ洋一必勝」県議・市町村議員決起集会での知事あいさつ

昨年の宜野湾市長選挙で、オール沖縄の候補がリードとの報道が前半に流れ、陣営の緩みが思わぬ結果を招まねいた。相手陣営は巨大な権力。「イハリード」を意識的に流している。万、万が一でも、絶対落としてはならない選挙。心をひとつに必ず勝利しよう。

沖縄の声を国会へ! 未来を決めるのは私たち!

イハ 洋一

参院選ひやみかち・うまんちゅの会ニュース

イハ洋一事務所 那覇市古島1-14-6 (教育福祉会館)

☎882-1266 Fax: 882-1265 2016. 7. 2 (土) NO.10



@ihayoichi

内部資料

